



日本医労連の2018年介護施設  
夜勤実態調査から

が16時間以上の夜勤となっ  
てていることがわかつ  
りました。

## 介護夜勤

2交代 9割 ■ 16時間以上 7割

方の混合5施設と合

わせて89・5%にのぼ

りました。2交代のう

ち16時間以上夜勤が86

施設69・4%でした。

2交代夜勤は通常の

2日分に相当する労働

時間を拘束される。人

員配置も少なく、何かに

対処している間に、別

の利用者が転倒する

など事故を防ぎきれ

ない」と実態を訴えま

た。

日本医労連は15日、  
厚生労働省で会見を行  
い、2018年介護施  
設夜勤実態調査の結果  
を発表しました。介護  
施設の約9割で長時間  
夜勤となる2交代夜勤  
を導入しており、7割  
が16時間以上の夜勤と  
なっていることがわかつ  
りました。

調査は1,332施設3  
646人の実態を集  
計。夜勤形態に回答が  
あつた1,244施設のう  
ち2交代が1,066施設  
85・5%、2交代と他

2/16  
赤旗

が大きくなります。

1ヶ月の夜勤回数

は、2交代で最多、  
回、3交代で20回と  
いう人がいました。夜勤

回数に法的制限がな  
く、日本医労連は介護  
職員についても、国

看護師確保指針の「  
交代で月〇日以内（  
交代では4日以内）」  
に制限すべきだと主張

しています。同指針  
超える夜勤回数の職員  
は、2交代で36・4%（  
前回43%）、3交代

7・4%（12・7%）  
で改善しました。

会見で三浦宣子（  
しげ）副委員長は、「正  
は入管法改定で外国  
労働者6万人を介護  
に受け入れるといふ  
が、低賃金で夜勤な  
過酷な実態のまま六

は、「2交代夜勤で17  
時間拘束される。人

員配置も少なく、何かに  
対処している間に、別  
の利用者が転倒する  
など事故を防ぎきれ  
ない」と実態を訴えま

た。